不得京十八二登 國民會議出席の

靜養希望

胡氏布哇にて

大十三師李献橋を慰川線に六十二 「大十三師李献橋を慰川線に六十二 「大十三郎李献橋を慰川線に六十二 「大十三郎李献橋を慰川線に六十二 「大十三郎李献橋を慰川線に六十二 「大十三郎李献橋を慰川線に六十二 「大十三郎李献橋を慰川線に六十二 「大十三郎李献橋を慰川線に六十二 「大十三郎李献橋を慰川線に六十二 「大十三郎李献橋を野川線に六十二 「大十三郎李献橋を野川線に六十二 「大十三郎李献橋を野川線に六十二 「大十三郎李献橋を野川線に六十二 「大十三郎李献橋を野川線に六十二 「大十三郎李献橋を野川線に六十二 「大十三郎李献橋を野川線に六十二 「大十二郎李献橋を野川線に六十二 「大十二郎子」「大十二郎」「大十二郎」「大十二郎」「大十二郎」「大十二郎」「大十二郎」「大十二郎」「大十二郎」「大十二郎」「大十二郎」」「大十二郎」「大十二郎」「大十二郎」「大十二郎」」「大十二郎」「大十二郎」「大十二郎」」「大十二郎」「大十二郎」」「大十二郎」」「大十二郎」「大十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「大十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二郎」」「十二

廣東軍俄に緊張

中央の南伐軍出動に

解が江西省より

南に輸送すべく接職「鬱養し下爾に臨液せもめてゐる

塚本長官の巡視

廿日から州内各地を

接頭を初め大連

0

蔣軍對時

でいた。の調子で行けば六月 倒には でいた。の調子で行けば六月 倒には でいた。後に後に最近側近者に繋も六月 では、最近側近者に繋も六月 では、最近側近者に繋も六月

汽船十五隻を徴發

有會合の重要議題は次の通りであ

重要諸

問題

を大臣、書記官長、法 の減率は一割一分以 長の減率は一割一分以 長の減率は特に一割 分下履の減率は特に一割

息よけ

女の解

放

٤

れ、黙好呼等

ではならに、髪の怪能自由を如こさが織り嫌人な東郷もただけ

展ケ浦ヤマトホテ

北氏

しのである

ではなしに、髪の怪能自由を如って、大きなできたかについて一切に束縛してきたかについて一様する必要がある。

へに多くの呪ひさ非難ごがわびむれることについては、男のう

男の解放

全代高

### 月額五十五圓以上の者に實施 植民地官吏の加俸は大體半減

電話が最も自

育女買ひたやめることのできなからはらず、男が審姿し、またからはらず、男が審姿し、また

順帰着六時自動車にて官邸⋈着十五分鞍四時四十八分乗替、旅中五分五分、周水子驛着四時三時五十五分、周水子驛着四時三

のため 説んであ 嫌人の解放

で、だけが愛つてゐるわけである。 し対く既つたか? だけが愛つてゐるわけである。 し対く既つたか? を性の解説さいふこさが、 このできるかといふこさが、 がのこの問題の意思で、 が性の解説さいふこさが、 がのこの問題の意思で、 がないふことについてたけ考 次いやうに問ひ進めよってもに、 またもちきたすであら ために、 びはしり一様の うかといふことについてたけ考 次いやうに問ひ進めよってもに、 このできる

## 本年七月るでに實施 級一千六百回を一千一四程度

さする演繹案は十六日若城首根される対象を確認のためは速に寛守せんのないのは、東京十八日登)政府が本年度数 を製官、局長 五千二百四 回程度に を製官、局長 五千二百四 回程度に を製官、局長 五千二百四 回程度に を製官、大官 六千五百 同 四年 のを五千七百回 の 四年度に 本 書記官長、法制局長官 奏任三級 福府副議長 七千風な六千 四程版 副程度 七千五百回な七千 回程度 奏任三級 三千八百圓公三千 | 四程度に | 三百四ヶ至三千四百四な三千 | 同十 一級 一千四百四な一千 | 同十 一級 一千四百四な一千 | 同十 一級 一千四百四な一千 五級三千百圓二千

級四千五百四を四千 百圓乃至二千百圓

七同十二級

子圃程度(減率四分乃至六一一級) 一千二百冊を一千

さになったる際へておらうさ見てある

比に一低するこ

任山東省主席 任安徽省主席

韓王于 復樹學 渠常忠

東北五省首腦る

和平主義で進む

全國に通電を發す

氏忠學于

滿鮮視察團來連

いかこさが終りに近づいて

また効果さかもつてゐることは れ、そして結婚を すらして女性の獨立への意味さ きた婦人な保護す

問題さしては、婦人の解放さ

女性の解放はもち

質糖ご養務さた税 様立さによって誰

後つて婦人の

きない人の

あここを愛むでるだかの歌像で なここを愛むでるだかの歌像で お

會議臨時重役

震・向はつ

ちうか? 男の単なる浮氣性

の解放はもちろん女性のの解放はもちろん女性の

をまた質質的には男の解放では しまた質質的には男の解放であらうか、それは

そして今や女性の解放があり

六千圓程度に減福・料顧問官

奏任二級 四千百回至三千六一同

國際聯盟理事會議

九級一千八百國を一千一割乃至一割二分に相當す)

近く次の如く伝命

師するこさに決定

たので今週内に呼撃するさ(奉天山内容な中央政府に説明し同意を得まる 局氏歸奉ご 滿鐵側準備

北側委員さの歴史の

胡氏外遊の條件で

政治的解決を希望

氏の外遊は近く管理するもので見

廣東問題と三元老

本村清銀変深部には山崎流外課長等か常同、二十日標息で無順視等に向る確定であるが銀道交渉東、北側代表高紀殺氏が敷日中に帰客

お選るれば一般時が選るれば一般時 ・木村理事の東 になる筈。なほ

●のだが野豚には少く ないで、この際のは を変生の際には少く ないで、この際の治 ないであった。この際の治 ないであった。この際の治 ないであった。この際の治

院司氏の前書か書いた悲歌な志 院司氏の前書か書いた悲歌な志 で大正十二年以来今日まで のは吉林を中心として全浦に根

ものであつ

を扱ってるる。選戦人――その を扱っているをの苦心は悲様強大 一一瞥で歴代警察者長が猫線大 一一瞥で歴代警察者長が猫線大

0 だけはの限りでない。 いのが飛龍跨遊式歌味、低し蕎麦がたたべ の風物が氏の経管によって美化 する流神、楽暖、鏡子高。長春 養験、庭職等々、然にこれさい んでもっざれて撞球、非粉棋、 投がある――何時頃から始め

國人は東洋人さしての血を可なり

がこの調子で行けば六月 旬には は巳むを得ざるものの解験は概次回復し最近では満 た窓んでかり前更減後の解験は概次回復し最近では満 た窓んでかり前更減 仙石總裁來月の 總會に出席見る 引續き社務刷新決意 有してゐるものと 更減解し海口内閣 のさしてゐるち

▲二十日八水/官助数午前八時冊 ▲二十日八水/官助数午前八時冊 分自動車大連民政署者、九時四 十分数十時四十分、地方法院者 一時十五分数十一時三十五分、 一時十五分数十一時三十五分、 是ケ浦ママトホテル着十二時畫 後数午後一時十五分、大連時装署者十 一時十五分数十一時三十五分、 是ケ浦ママトホテル着十二時畫 を数年後一時十五分、大連取引 所着一時三十五登数三時五分、 水産試飾場者四時十分繁四時四 小分、星ケ浦ママトホテル着五 小分、星ケ浦ママトホテル着五 本方、屋大市

赤げつと 支那あちこち……②

國杖史部

て了ったではないか。そこで 大妻と伴の中華民國婦人さその 大妻と伴の中華民國婦人さその は、その通りにして離った。さ、 を り二人去りとて、それから戦者能 かったらうヤンキー謹は、被等特 で り二人去りとて、それから戦者能 で 下が立ちまる中に一人愛らす立ちまっ 大妻さ僧の中華民國婦人さその襲き が ドが立ちまる姿、前ちこの夜のチ ルーダンスがその歌か開ちる決職り て中華民國婦人を要さしてある墨西哥人でその友を要さしてゐる墨西哥人さその友 一なが残して難り歩い、

夫ればかりで無く、中華民國婦

鐵道交渉の 南京政府 內容 H か

今週中に歸奉 等所、法院等の巡視をなず等、な 年後け更に民政署、金融組合、被 所、師範は堂なざん願次に視察し 市内山縣通日本ペイント株式會社小城級之助氏以下全國東西縣合會を今回當地に開催する事さなり社長小城級之助氏以下全國谷地の同社の同社を関係者等一行二十一名は朝鮮方面 入港集定のうちる鬼乗者の主なる【門司特電十八日蘇】二十日大連

古中東京支店長等は浦鐡端め關係 出戦うちる城にて帰國い町 出戦うちる城にて帰國い町 午後四時五十分經連 直に速東ホ ・ 一定がでは、一行は十九日市 ・ 中見夢の上午後六時中より登瀬勝 ・ 一行は十九日市 か二十日旅順見學を終へて市内職所の一十日旅順見學を終へて市内職所の一十二十日旅順見學を終へて市内職

川味して作り上げこう

でで、は些か音流を得たり。 で都長、野部館のみは此限りにあた。 での減齢繋の人懐味。巡査、巡 されポストンワルのが全球ストンワル 梭式ワルツーなのだ 館目に加売

は、の送いするがよい。 は、の送いするがよい。 は、のだが我等の二十一人組は、 なったが表達のでは、各大臣は、でその強い権び無しなのだれ。 は、全然機選は個人あつかひさい。 なったが我等の二十一人組は、 なったが我等の二十一人組は、 なったが我等の二十一人組は、 なったが我等の二十一人組は、 値が低下したものでは決 な マルッが大き しのなのだ。 最いで正式で、「戦者の社のだ。」 最いで正式で、「戦者の社のだ。 最も 古いのアルッが全盛が傾めてるた頃、そのワルッポンを感が傾めてるた頃、この優勝の その強か権び無しなのだれ。他のだが我等の二十一人組はて

> ★年達代の新型の子供洋脂とります。 本洋服の型と一緒に美しい色どりまで一目 本洋服の型と一緒に美しい色どりまで一目 ・10年ので観光した一大歌歌であります。 百餘種の原色書

満鎌では十八日午前十時より影響整正在連連事全部参集、臨時重要室に在連連事全部参集、臨時重要を計る。 警察部長會議 八日安』道府縣皆。部長

管路第一日は十八日午前九時十五 分内務衛に際會極民地警察部代表 も出席し安達内根の訓示あつて係 を変換しないでは、 では、り指示事項の説明あり質疑應 では、り指示事項の説明あり質疑應 では、り指示事項の説明あり質疑應 い。 

「た、背に腹は代へられずの整へ通をするさいふことは前側に続て
だ、背に腹は代へられずの整へ通をするさいふことは前側に続て
だ、背に腹は代へられずの整へ通をするさいふことは前側に続て
だ、背に腹は代へられずの整へ通

一覧二十一人が一覧に接受ると、一覧り得んで離へ戻ると、

主婦之友」は

任關東西高等女學校教諭
任關東西高等女學校教諭 上 電売なポーズミステップミで。個分はボーズミステップミで。個分 た切るものさ思ってねいさころがしてやばりのヤンキーが情報とうっ が、その中華民國婦

関東麻醉今八十八日) 拾郎、虞辭豐、菅谷嵯、杉本信 大江襄三、寺島爲三郎、上田仙 小林久良、寺村庄三郎。谷口亘 賽廳 敏子 あつたれる は戦を遊歩したさいふものさ。 一人の潜い美しい中郷民国婦人さ 便差の 職に降取ってつい 人の墨西哥

き號 

は、ドンナ素人でも手腕が、(作ができ)を配って終れる新案の刑が、(作ができ)を配置を持じて盗に避免がのでない。アイシャ変を大のを認ったが、まった、カートと帽子の型紙が、大統領のでは、1000円では、 ▲
二三歳用のロンパースの型紙

洋服住空存日糧 大附錄共五十錢(\*\*\*

代さ共に捜査中越國會面寫支部 のが出て來たので其の粉で爆弾事

高松宮兩殿下

羅府に御到着

五

公布の主旨で檢學 郷野の共福国保工機動助戦の総覧を持に助き子製引出基氏は融る「谷、

口 九 十

り開保ないさ思ふ」 り開保ないさ思ふ」 ので法律制定の標準は公布前も公布後・壁つてゐないから事代が最生せば司法警察さして後來通り で法律制定の標準は公布前も公布後・壁つてゐないから事代が最生せば司法警察さして後來通り ので法律制定の標準は公布前も公布後・壁つてゐないから事代が最生せば司法警察さして後來通り ので法律制定の標準は公布前も公布後・壁つてゐないから事代が最生せば司法警察さして後來通り ので法律制定の標準にあつたさしても公布のお旨は解離の無額を入た禁止するため公布された ので法律制定の標準にあったさしても公布のお旨は解離の無額を無して強てた事代であるか否かはこの際候。も云は20 ので法律制定の標準にあった。 であるか否かはこの際何も云はねし

# 爆彈事件 物然たる時と省一口御護身州さして他人だ鬼渡五寸のと首さ「世上に包んだ鬼渡五寸のと首さ「世上

### 倒閣維新同盟の 八と相談

田中波震できが前記学な丼がで作

ト二個を

教育映畵

災害防止を諮問

間中三、四、五の三日

悲惨事の續發に鑑み

管察部長會議に

る自玉町を訪問し同社の同人機械 紙さ新聞紙に包んだダイナマイトの日本年二月頃起れた誘腰を無駄。の うろつき同を九時代戦艦がある 六本木で下車井上膨低地に使入職を与れてる存储財際型に関係的 六本木で下車井上膨低地に使入職を与れてなる存储財産の 一方のつき同を九時代戦艦座がら電本年二月頃起れた誘腰を無難が の こうかいれた高短は銀座方頭を 油紙と新聞紙に包んで點火

二個に雷管をつけ同風水はきに押し続き新聞級に包入だダイナマイト

# 意外の事件が

直訴二事件の裏面ご

藏相邸の怪小包犯人

大和町二十六番」の一二五

大龍浩問君大龍浩問君大龍浩問君

立教再勝

トル、胸間四十七センチメートル、胸間四十七センチメートル、特重九九年ス月二十八日上れ、身

九で四十七名の支那人苦がの仲間。 見せ 十八日天津より入港長山 大田天津より入港長山

長六十二センチメートル 藤井 政

大連に御目見得

大規模の配議を立て満電では一貫 や駅の滑り数など子供談に割ばれの下に かれる電源域では最近 は極熱飛行機、飛行機三弦つ、をが設置に然で満電品能、落縄後標 質能することとならう、簡諧内に からの観光を中メリーゴーラウンド 大規模の配議を立て満電とは、 新縄後標 質能することとならう。 簡諧内に からの観光を いっとう においる はいっとう からの観光を いっとう においる からの観光を いっとう においる からの観光を いっとう においる こととならう にいる からの観光を いっとう にいる こと という にいる こと といる にいる こと といる こと といる こと こと にいる こと といる こと といる こと といる こと という こと にいる にいる こと にいる にいる こと という にいる こと といる こと という こと にいる にいる こと といる こと といる こと こと といる こと こと といる こと といる こと といる こと こと といる といる といる こと といる といる こと とい 電氣展覽會の呼び物 トル 大和町二十六番地 大和町二十六番地 大和町二十六番地 大和町二十六番地 大和町二十六番地 大和町二十六番地 大和町二十六番地 大和町二十六番地

人営兵ご

政之君 長六十六センチメートル、機能配和五年十二二十九日生れ、自

對帝大二回戰

一般にはいるが、それと入れ塗ひに を表が来浦一般の上窓線を除した。 を表が来浦一般の上窓線を除した。 を表が来浦一般の上窓線を除した。 を表が来浦一般の上窓線を除した。 を表が来浦一般の上窓線を除した。 を表が来浦一般の上窓線を除した。 を表が来浦一般の上窓線を除した。 を表が来浦一般の上窓線を除した。 を表がまする。 を表がままする。 をまずる。 をすずる。 をすずる。 をする。 をもな。 をもなななる。 をもななな。 をもなななな。 をもな。 をもななな。 をもなな。 をもな。 をもなな。 をもな。 をもな。 をもななをもな。 をもななな。 シグ六月號へ養表・大評焼です。 大評保製氏が經難秘密の秘事をキニ十四年電監解の研究に選訴した

メートル、胸屋四十センチメト七キログラム、顧園四十センチ

地に践村(歌)天知、標準 始されたが七人が二のスコア 始されたが七人が二のスコア 文 中國山三菊小畑內國 立 中國山三菊小畑內國 2 2 3 3 1 2 4 5 6

東連

弗市

庭民

ゴ運
入動

會會

申込締切り廿日迄

沿岸の航路標識 級四千個の部上費をもつて六月被 後著は燈・順より同局本年度最初 に着手する事業の一つに加へられ 工事に取かいる事になった

改善され

面目立つ 濃霧期 商船支店長談 此郷委員會委員の一 までに

大(六、一、一 

新

デカクチオ

トリノ イタリー對オランダ 第二日ダアルスはイタリー勝ち イタリーは三勝とて三ラウンド にギリシヤ對チエツコの勝着さ 對戦する

六日目取組

単 加人戦は一般百三十九名、単生二 野来吉(四三點)単生射手窩、離別で カった、一等人数者は一般射手内 であった、一等人数者は一般射手内 一(四一點)であった **帯四十三國小統約戦大會は十七日** ・「て開催、午後四時終了もたが参 小銃射擊大會

> 後町岩



女子優良兒 女子優良兒 日の出町二三 ノーノ五、石井廣子(五、八、 ノーノ五、石井廣子(五、八、 イス、五、四生)◆乾澄町二六 本郷洋子(五、一、一二生)◆ 本郷洋子(五、一、一二生)◆ 一本歌に連行助跳べると一味五名で を動か低て事頭に避ぶ途中であった旨を自的とた、同器で面に怪支 か人裏を紹介に午前十一時市内製 が所に一味の微馨に配ったが背後に がかなでする。 一味五名で がかなでする。 であったが背後に であったが背後に 上に然て製脈で動の極支那人を大 連撃物別響通យが歌の極支那人を大 が歌の極支那人を大 モヒ密輸 路上で檢學

オタメシカゼンセン ウマレマシタ ウマレマシタ カデノサヨウインガ カティンガオコル カティンガインガ

海務局の

オポース・

タブリン 南阿對アイルランプ たの如く外行南阿は四勝一敗で 一下の如く外行南阿は四勝一敗で 一下の如く外行南阿は四勝一敗で 一下の如く外行南阿は四勝一敗で スペンス

THE STATE OF THE S

サピルレン

デルボルコ(二一六)ヴァンデルベルト (木一四)ハイデルト

明五月十九日 連銷街家族店員慰安運動會に付

小兒科

梶

コロングというというが言当している。「日には、 聯全連鎖商店街區休業 連鎖街浴場に 限フ 平力 日はないというできること 常通り管業

文 住宅棟

を相手取り継續及び損害賠償三千二番總法治・ささは夫志治小三郎

自四月三日 大連洋服商組合

牛馬の虱は してどるに限る

で 一番安全で配覧な扱うという。 は全職します。商服が変つて居り は全職します。商服が変つて居り は全職します。商服が変つて居り ますから五六日後、もう一度やれ で完全に居なくなります。これか

八湯募集田

開員の經費 金四拾参園 (申込ご同時に金拾圖御携込の事) 田野の外費用は絕對に要らぬ様に成つて居ります | 田野の外費用は超對に要らぬ様に成つて居ります | 田野の外費用は超對に要らぬ様に成つて居ります | 田野の外費用は超對に要らぬ様に成つて居ります | 田野の外費用は超対に対対して居ります | 田野の外費用は超対に要らぬ様に成つて居ります | 田野の外費用は超対に関する。 | 田野の外費用は超対に関する。 | 田野の外費用は超対に対対に関する。 | 田野の外費用は関する。 | 田野の外費用は超対に関する。 | 田野の外費用は関する。 | 田野の外費用は関する。 | 田野の外費用は超対に関する。 | 田野の外費用は関する。 | 田野の外費用は超対に関する。 | 田野の外費用は関する。 | 田野の外費に関する。 | 田野の外費のの別様に関する。 | 田野の外費に関する。 | 田野の外費に関する。 | 田野の外費に関する。 | 田野の外費の外費用は超対に関する。 | 田野の外費に関する。 | 田野の外費のの別類に関する。 | 田野の外費の外費用は超対に関する。 | 田野の外費のの別様に関する。 | 田野の外費用は超対に関する。 | 田野の外費用は関する。 | 田野の外費のの別様に関する。 | 田野の外費用は関する。 | 田野の外費の外費用は関する。 | 田野の外費用は関する。 | 田野の外費のの別様に関する。 | 田野のの別様に関する。 | 田野のの別は関する。 | 田野のの別様に関する。 | 田野のの別は関する。 | 田野のの別様に関する。 | 田野のの別様に関する

大連市吉野·

不町七

連新 間 社 支 旅 行 国

後拨

十七日愈々太空洋岸地方に入らうド溪谷御深勝を移へさせられた宮間地一殿下には十六日コロ松宮間地一殿下には十六日コロ松宮間地一殿下には十六日コロ松宮間が一般である大田では、 間東州沿岸の航路標識の改善はかれてより一般に叫ばれ公和でもに その必要を認めてるたさころが、本年始めを形地が強ふく三山島に 本年始めを形地が強ふく三山島に 本年がめる形地が強ふく三山島に

四部の際リ大量な御祭職ぎで 

男女最優良兒發表さる

赤ち

P

兒童愛護週間の赤ン坊審

痛じー

當

館の特長

東京十八日費 近來映畵教育の効果が認められ各地で利用 ままいに強いたが、これに関い技術の心験調査を出て都護事的り内粉香ではこれが緊張性も多いの物質事が建り鐵倉事件を始め北岸道群馬等に然でも多い。 これに関い技術の心験調査を認ても多いのが、これに関い技術の心験調査に成でも多いのが、これを地で利用

逐州男子四十八名。 寺兒鄉十四番地

、他更見完子九十五名、同好子十便見見完子十五名、同好子十

女子最優良兒

及ばな

男は胸圍、女は頭圍

チメートル、胸剛四十六セログラム九五〇、頭闡四十六

**竹英子さんは何れも生後満八ケ月 三〇、胸園四十二センチメ最終良見男子藤井繁君および女子 ○○、頭園四十二センチメ** 一の身長六十七センチメー 別りは整橋準の何に

廿三日に協和會館で表彰式 

清鐵指出

犯行までの徑路

使用法を教へた松林

東京十七日数一高煙、松林ら政 ・ 本たがた際に帰したので便等か ・ 本たがた際に帰したので便等か ・ 本たがた際に帰したので便等か ・ 本たがた際に帰したので便等か ・ 本たがた際に帰したので便等か ・ 本たがた際に帰したので便等か ・ 本たがた際に勝したので便等か ・ 本たがた際に勝したので便等か ・ 本たがた際に勝したので便等か ・ 本たがた際に勝したので便等か ・ 本たがた際に勝したので便等か ・ 本たがた際に勝したので便等か ・ 本たがた際に ・ 本たがた際に ・ 本たがた際に ・ 本たがた際に ・ 本たがた際に ・ 本たがた。 ・ 本には、 ・ 本たがた。 ・ 本には、 ・ も がは、松林が教へたものであると たものであり覧なる像がらせ程 たものであり覧なる像がらせ程 をのものである段は様は高端され 露人が來連

-谷仲徒町大澤米吉(11)から

號 八 十

《不認物便郵槽三第》

九 百

寫眞說明

市画の風晴 一時公 清瀬(午前 四時三十分 一時二十分

天氣豫就

期間

至六月廿日

大所、本清正公、水前寺公園、太宰府、博多各所、(雲仙行きは御精響、遊覧(門司上陸、耶馬溪、羅漢寺、青の洞門、阿藤登山、栃木温泉、熊田毅の期日 昭和六年六月三日(うらる丸)にて田殿員の經費 金五拾五面 (申込と同時に金倉画御想込の事) 単く (人 祖)

幸反 H 沙州

日曜火)

層で息かしてあるら 題な不気で持ち込んだのである。 これは産器組にさつても事代で 傾か会闘なしたもの

た役び三名を

は出せなかったから

をならざるは無いと云はれてある。 整逆無道の田窓老人の管い見事計 ちさつて覧のたい」 立つてくれる。

うに十分に繋が離って

理解ある道化役者禮



ニ ワ ホ テ ル 三面、四回 特等室 五回(Xス、面) ではる 設備 で、質せる 設備 で、 サービス でな サービス

ホテル ホテル

日年经 本前 橋ホテ

最 尖 局安部磁雄

大連市者狹町二三二

新 聞 0 配購 達讀 上御

の御用命は『日子口(夜間及休日)申込み其他『日子口(豊間) **水原小兒科醫院** 四七六七巻



痒

ノーシンー シンド 頭痛り シン川

がある持



十"月六

に大仕事であるには述びない。 皮 ・大仕事であるには述びない。 皮 ・大仕事であるには述びない。 皮 ・大仕事である。まづ二兩 ・大仕事であるには述びない。 皮

州國映畵の

演

蔥

大阪朝日夕刊連載小説 場 こ

ダックなと過去

百八十五萬圓

臓ない

ま一つ。田福意大

田溶例で側せられる」

時の間にかちやんさわが飼光のや けてある。この安慰秩序をぶつこ りして近月の内外の人心を脅かし りとで近月の内外の人心を脅かし がある情がべき溶雑組の人感を何 がし

展売日本映画の登室は目さましい を解析の調査になる昨年度の活験製 が年々増加の傾向である大概教主 が年々増加の傾向である大概教主 が年を増加の傾向である大概教主 を関係人高を見るに想観二百八十五

大きないでシークな現 一十八日か封切 一十八日か封切 一十八日か封切 一十八日が封切

別の輸入高な見るに左の

紙品福盛號 爾語五六八五掛

あるを再三聞きました

經

常

たから二三かの あるを知られ

試服は二三日で判

播丸

**秦 國 帝 崎 山 和原在田野京東** 

崎山ん

・まだ難が残つて ら痛かは忽ち輕く ら風車家の難を勸 ・気に床

#人科 に田野

111111

統學院院

常時將軍家の執機

年

五

十兩は今の千圃ほどの感じであっか、家の際草の吸じ十兩以上を大が、家の際草の吸じ十兩以上を大

が、家の料単の頃は土

「もかし、いまの話は正線ではな

入場格 階下

四十錢

解放

活

ルデリック機械料金● 最低料金● 発展がトラクトリンク・フ

り機の男は呼びさめた。この暗に見えるのであち

☆野氏特別は大会を近の局は大会を近の局は大会を近の局は大会を近の局は大会を近の局は大会を対していません。

(可認物便郵種三第)

暗

流

羅

(67)

「大物でござるぞ」

つ三十兩公

知りて

てとを

莨灰り

最新入荷 荷

他に

111 服んで!!

店商衛兵長田武 社會或等店 商 義 野 塩 社會或等 社 會 名 合 巴 二 (可能道區東市區大)

元造製

エキシカ及びホスピン合併改良品 五〇〇五〇間四〇 二十日元公開四〇 (全国の知名養店に販賣す)

ならは

神經衰弱

には

Ł

ミツワ微布薬 ミツワ液臭薬 ミツワ飲香 ミツワ松

**疥癬等の瘙痒を場合** ミツワ河海湾

.

他に

772

痒き處に用ひて確實なる效あり然も無刺載性

にして調売の要無き

3

う

著名の襲店にあり・最裕に品切れの節は本輔より直設さ のミツワ石絵本館 丸見腫剤店 東京の下沿地二男町県 皇 A

直接販賣店規定御申込大第30至

御申越次第進早をの間のかかますあり

思心、嘔吐、胃痛、吐湯症等。 「質の思酔、質の過飲、寒子の過食

1

等の場合に確實なる效ある

食品

〇ミック

制酸錠

過

ミッワ消化館 ミツワ清脳に 

大連市榮可連館街店

4 ア 會社製

工

3 にもり

活躍するぞ

起

肺炎、

傷、運動咽喉痛、

産

運動後の筋肉疲勞、

筋肉痛、

良

肩凝り、腰痛、 火傷に

の罪か制度の

罪

9

どう展

けゆ

77

法、軽繁芸性等の脳で管理の運び職めながら、その實行の時期とが

沢子大り

(単位地) 差引 現在高 本年/本日 昨年/本日 127.753.4 112.690.7 30.151.0

144,806,0

3.562.4

2.832.4

3,114.3 3,833.9

67.7

593-8 183.8 3.016.8

94.7 601.7 25198 424.0

7.609.6

1.955.7

25,824,4 1.725.3 455.6

42043

. 77.9

159,999,0

10.631.4

1.510.2

76.7

1.728,9

36,657,3

連

9

は

取引所の統制が急務

津久井

く左の城へ深着を

水産業者の願ひ叶つて

世間ではこの監督を個人間の利 ない、土地の財況に難して私っかりで ない、土地の財況に難してればかりで ない、土地の財況に難して統一能 た複雑な組織になってゐるの



殿者だけに味はふべき言葉であるさ語つてゐるが取引所に関する権 くされる脚等熱から、

地別入荷高は左の通りである。と同月中の産 1011 ₹ 10

HE -401

田來高 三車 出來高 三車 出來高 三車 相 二〇七〇 二〇七五 由來高 三萬三千枚 豆 油 一六二五 一六二〇 由來高 與 三六〇〇 三六三〇 由來高 次申 包 米(出來不申) 定期喰合高(大口帳入)

品(引) (保) (保) (保) (保) (保) (保) (保) (保)

美 望 | | | | | | | | | | | | | | |

林 出來不申

京納三八二〇百箱 五五百箱 互流三八二〇百箱 五五百箱 人八四車合 一四年 大豆 四七三七車合 一七車 高梁 九八四車合 一四千枚 一四千枚

煉瓦工業界の不振で

もまた相當の被

無順炭機悪し

夏枯時の賣行悲觀さる

大阪棉花 大阪棉花 大阪棉花 

食「三時ラリ

神仙松葉の素 三根

科醫院

金物類の研料 利で經濟な

仕入や代金支拂は水産會が斡旋

漁具類は共同仕入 滿足の意を 表したい

水産會役員語る

種の助成援助

最低値二錢なごごは 内地でも見られぬ事

グチ三十六銭、カレイ十七銭、郷、して之に等式なる配職の不統一覧 

廊田大津黙氷支配人は一

勝田大連製氷支配人の話

を種々承ったので、 になったが、それは になったが、それは を種々承ったので、

出来のが前年度に比ら五年度振順出来のが前年度に比らる年度振順

満洲總體から見て

(上海十七日登) 株都戦事をは 海関の手で行ふ 海関の手で行ふ

豆粕、豆油等は却つて減税

上つたのは栗、柞蠶、板物等

の安全を動するためた記し

大連発市場、四月中にかける取引
高は敷料四十五萬七子四十二萬、
一萬四千五百八萬、全観二十三萬二千二百八十八團に
して之れた前月に地すれば敷設十
一萬四千五百八萬、全観七萬三千
一萬四千五百八萬、全観七萬三千
一度敷設に砂が平の同野に地数であるが程は窓
は敷設にが平の同野に地数であるが程は窓
でいまれば敷設十
でいまれば敷設十
でいまれば敷設十
でいまれば敷設する時はな
でいまれば変数する時はな
のいまれば変数する時はな
のいまれば変数する
のいまながなる
のいまなが

愈よ開市の安取 取引方法を改善

新海 1120

(松の翠)

たが新税則では一枚に從價七・ た一つでせう、材木も舊税則で に從量税を從價稅をがありまし たが新税則では一枚に從價七・

九

大連魚市場

取引高

外間添この間に適用されるもので を一外間添この間に適用されるもので が満洲関係の産物については大し 満洲関係の産物については大し 満洲関係の産物については大し である、私について が出版になったものはなく互相 可清等は却つて減税されてなり である。

決定をかるぎであるが

けふから正式に立會

0

◆定期取引《单位经》 一种 BBS 11至10 1至30 中時 BBS 11至10 1至30 十一時 BBS 11至10 1至30

物公部) 

大連汽船株式會社 場關荷取扱店(大連數島町) 永和公司 電話七二七五・七八六八司 電話七二七五・七八六八司 電話七二七五・七八六八司 電話七二七五・七八六八司 電話七二七五・七八六八司 電話七二七五・七八六八司 電話七二六五・四六八一 ●安東行連勝丸 五月太山 変傷聯聯命令定期大連漏戸内株 変優縣聯聯命令定期大連漏戸内株 門司守品尾 照闽丸 五月廿二 門司守品尾 照闽丸 五月廿二 門司守品尾 照闽丸 五月廿二 大連、仁川行 利連館 五月廿二日 大連、仁川行 利連館 五月廿二日 大連市加賀町三〇 大連市加賀町三〇 大連市加賀町三〇

●真顯荷拔所《大連市山解源》

● 專屬荷揚所(大連市山縣通) ● 專屬荷揚所(大連市山縣通)

度船 養務 長門司司 行行府行 を表する はになる。 大澤 でである。 大澤 でである。 大澤 でである。 大澤 でである。 大澤 でである。 ででる。 でである。 ででる。 でである。 ででる。 ででで。 でででで。 ででで。 でででで。 ででで。 でででる。 ででる。

欧洲行(だめか丸 六一) 李浦行

(刊日)

(計画的資富經過數)

内にお水 一 で が が れぬ

品景

等

特製クローム鍍金スプーン……半打宛

計……一個宛

してあるのが御営籤です

その外に 個毎に洩れなく進呈 一本宛

特製クローム鍍金

(入五五十三 床正)

鑓本業の味 適用御省内含

附

大阪屋號書店

大井さち子

**5\_J** 

**責出數量に限りあり** 

(東京十八日登) 政友會は十八日 と後二時より本部に臨時機将會な 配き大学機の以下機等、時間、戦 事等出帯臨時會保倉間野、臨未 事等出帯臨時會保倉間野、臨未

解き大き

概様を初め密面の番階画につき際 ・ 大変に変更や影響に変像を行るが ・ 大変に変更を動しのである。 を表現しました。 ・ 大変型や影響に変像を含めかくて ・ 大変型や影響をありかくて ・ 大変型や影響をありかくて ・ 大変型や影響をありかくて ・ 大変型や影響をありかくて ・ 大変型や影響をありかくて ・ 大変型や影響をありかくて ・ 大変型を表現を表りがといる。

臨時議會召集論

政友總務會

諒解を求む

きのふ懇談會席上で

『東京十七日登』行財歌神楽像を 教、健康の五書管職な郷食の光子 れば一先づ一陸歌を告げるわけで あるが、参説をは乗る十九日の次 関以後南三陸の会合を以てすれば 大概終了する見込みである、よつ

青施する事さならう いどー なー目月15日 ・ 一大日の開議に上述物 際 歌心で総談を能孔午後五時版 十九日の開議に上述物 際 歌心で総談を能孔午後五時版

委員會開催

政府與黨議員に

ふ閣議に上程

質施は多分六月一日

他諸給奥の現狀

期限附減俸口不

京十八日春」減俸家貴施が傳るトや風優理製時間に果然大るトや國機理製時間に果然大 本題ありてと新徳、上野南運輸事 てゐるに植らで學歌これること、九の名 地震戦闘は散発されること、九の名 大田の連続の大いでは要以言 でなるに植らで學歌これること、なつ

事所管内の現製製の一部も十八日 年後四時前木次市は近木規根さ本 で減機反動のトップを勧高し十八日 をは、一般のでである。 で減機反動のトップを切るもので で、減機反動のトップを切るもので

限らず若槻内閣成立で同時に當 機名集奏請すべきはずなるに本 年度成立強事を變更の已むなき 年、既にてなほ且つこれをなさの は懲政の本義に反す で、既にてなるも無急措置 されて福時議會の開會をなすべ

さいふに煮見一致次で減俸問題に

性を強ふることに反對も強い 零時や設合した 性につてゐるが、官吏のみに輔 零時や設合した を認い一定を見たやうに政府 の三匹につき調査を進むる事 決議拘束主義の

關係勅令改正約四百件

関業育議所は領事関を通じて南京

の不況さ共に根當の打撃を動つて の不況さ共に根當の打撃を動って これによりて邦職は抗権

るる

全國在米高

◆三十一日 吉林實定、長春泊
◆三日 長春費、汽家中、公主樹育 章定、公主樹泊 查定、公主樹泊 如平街泊 四平街道 四平街道定、明原泊 四平街道 那家店實定、那天泊 事天養、蘇家屯賣定、奉天泊

**群令** 【東京十八日餐】 開東調中學校教諭 大坪 隆良 開東 一种

「部特殊品には輸出新校を発する」れ各方面の注目をアメリカ公使の間に對米輸出品の 支那館の新米輸出を表する。 大変館の新米輸出

軍隊や學校を

赤化の陰謀

共産黨が東北省で

東京、大阪、吳坪、廣島の各州縣 旅師工村大學長 野田清一郎 旅師工村大學長 夷山 英一版の各府縣へ出張を命す 版の各府縣へ出張を命す

新輸出稅實施期

8

小賣物價指

一分方の騰貴

三ヶ月間延期を

を表すり、一般により

滿鐵地方部

奉天教、撫州茂定、撫順 撫順黃、奉天資定、奉天

任關東國中學校教際東歐中學校教

公立高等女學校長公立高等女學校長(大)

NA.

查定日程

大連發は廿一日

支那側婉曲に

ト職名で宋子文氏に同様の電報を要求中であるが尚時に谷融業感性。 月依然養税を以てせられたき旨を

撤廢說漸~有力 貴院改革と研究會

張學良氏」

~南京發歸北

※ 本二十一日 大連委瓦房店査定、 ※ 添競地方部では昭和七年度課算査

一般で地方部隊上監移課長以下較名 をで地方部隊上監移課長以下較名

A十一日 奉天寬定、率火數隨逃 高大連出數は五月二十一日九時數

▲関傳鞍氏(市會議員滿鐵地託)

日 大石橋賽、鹽口實定置定、大石橋沿

銀學良氏は存女 | 三間時その他北方問題等緊急解決 天候良ければ飛機で

れてある。 門具物業を取り っての職能を得 田来ても大丈夫 前記京大の大 この調査

来郷上駅に借り受けた白墨館内部「帯在中【孝天電話】 ・関係が黒海側の通融代表は近く「財物する由で、代表はヘルセンに ・関係が黒海側の通融代表は近く「財物する由で、代表はヘルセンに 奉天で近く事務開始

ア通商代表

開東廳で今夏迄に具體案作成 で関東原では本京のたさいけ さするが何日までのが大工場が かが、かられる。

東州の水は豐富

水に

無なで天津へ向った。なは二十次 を表するものあり東定か縁上げ天 を表するものあり東定か縁上げ天 で天津へ向った。なは二十

新称會職の決定を伊つ事になった ・ を職は延期さなり二十一日の中央 ・ を職は延期さなり二十一日の中央 ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ でる。 ・ でる

石軍辦公處閉鎖

日盛陽散、速陽資定、

大正十三年以来我國際、野縣の助長郷町に資するため本年近に七回、野縣の助・大正十三年以来我國際、野縣の助・大正十三年以来我國際、野縣の助 

ちょ、風光を浴てスク

本日廳報を添ふ

四 (大二) (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 長 場馬 医 八七五八話電子話播盤常連大





出來高 期近 三百四二人圖 ◇定期後場○単位はり 一一一後 九九〇七二 六四三 六四三 其 米

塞を割つた を割つた を対して安値は四個 になるで人類が化して安値は四個 一一一後 九九七七 八九七七

標金上伸して

四圓臺割れ

出來高 五十五車出來高 五十五車出來高 五十五車出來高 十五車出來高 二萬七千枚 出來高 二萬七千枚 出來高 二車出來高 二車 十二二 二八三〇 出來高 二車

不不三人 不七三六

一五四三〇〇 六五〇〇 六五〇〇

二七 四七

本二三後 三一数 六一数

産

市場電報

関が外に、よって現行観度を改正 製鑑さなりこれな避常するとなる。 物は普遍法の施行されて以来事務 能は普遍法の施行されて以来事務 にもされりこれな避常するとなる。 ないでは、よって現行観度の主部と を表する。 というでは、これな変形の。 を表する。 を表する。 を表する。 というで、表する。 を表する。 というで、表する。 を表する。 というで、表する。 を表する。 というで、表する。 というで、表する。 というで、表する。 というで、表する。 というで、表する。 というで、表する。 というで、表する。 というで、表する。 というで、またる。 というで、またなる。 というで、またる。 といるで、またる。 といるで、 

るが希望に



学術研究會に

57 人 当日 含を陥く事にもたがなほニナ 上海精度中人日曜 蔣介召氏は の大連占領日を下し要會式か 大連市史の資料な蒐集し正さ

塚本剛東長官

申込は日本物財會計消出氏へ電話 配の家で鉄理會を緊急に決定した投資を投機さし廿一日夜六時より 自来連続ケ浦ヤマトホテル

七七七七七 滿三四四五 籤七八一五

東新衛門

成果は杓法のみ

六 和

昭

(版內市)

で、航空は一千重の飛行機な、 を南方(中山港)に二大浦な建設 を南方(中山港)に二大浦な建設 を崩子江、黄河、准河に船を浮 を調子工、黄河、北河に船を浮

、物質下淳その他の理由はある も鍵道運貨、専賣價格、郵便料 金の引下げ減税はごうするか 金の引下げ減税はごうするか 本以て減俸するは妥當でない 、都市購買力の減退は農村の不 びを深刻化し農村し減俸を喜ば ない

木鐵相等對策を協議

失態を繰返すであらう

政友軍部會

新稅免除

密約說

天津支

那貿易商の間に傳はる

對米特殊輸出品に うれ七年度 東部省ではこれに 文部省ではこれに 上する模様である

密令說

関東麻醉今八十四日附

珍治

大豆(裸物) 安村 大引

【北平十八日景】で淡緑寺、より 南下せる花次三軍さ新郷に在る郷 藤原さは相跡時して双が仮戦院平さ流化 接近し一が新城の減職英軍さ流化 適からず火盛が切られるもので像し機械的行動を取らんさして居りと機械的行動を取らんさして居り 想されてゐる 大連史談會

務所において開會の答 聖德實業會 第五回定時 關東長官歡迎會 後二時より同事 る福州はい

廿八日發會式

村浦鐵廃産部長はその後の經過機能で別府温泉において旅費中の木

一日頃同地發師低

行政裁判所制度 改正を希望 普選以來繁忙のため



代と製名と三瀬徹位帯花の上アメルとは製名と三瀬龍位帯花の上アメ 整個氏は去る十六日上海養の郵船 變名で神戸若

リカに波航すると稱してゐる

田中大使杭州へ

平漢線で

兩軍對峙

大海十八二数)然当親祭中の田 中大使は今朝九時半鴻車にて在支 中大使は今朝九時半鴻車にて在支 ・ 校/開に配つた

前九時学より流織不社社員俱樂 速市では十九日午後二時より臨 臨時市場委員會

保合に引けた保合に引けた。現代に関すが見る。 ◆ 物(乙部)

『東京十八日登』御殿院研究者は 十八日午前十時より常称委は者か。 研究常務委員會



陳銘樞氏

うと関へられてるるが近く関東に赴くであらい間要人との會見を避け行動を 日本に亡命 製人さの會見を避け行動を秘 | 野し乗る六月末||法師舎追覧がるという。 に続し結構能がな後機と聚れのでは所給各民ノ器に 南南洲教育會經路員會は二十 教育會評議員會

内地變らず 當市保合 株 沈年八日 走

一八〇五〇 八〇五〇

CEON

座談會に集つた

失部「取扱ひ店は貴方さ外に離れ

年は吹良されたから良いさ思ひ

ので支那個の標質力

あ

全満サ

ビス賣

1

外層品な取扱なや

吉田「破損した場合

合修織するとこ

は全浦を納店では島切れの前機と云って質はれるほど染底化した云って質はれるほど染底化した。

中國人八の比率

開発をはせ二

前十時から脳温泉臓の熾速たる林一金州在街の殿岡縣人會は十七日午

・竹四日(日曜日)

号友倶樂部に消

描が少いのです。

日が外 物調品は 砂 物調品は 砂

の思い點がありましたが

が徐してよろし 中

ラデオはこれか

大部 「レッキスセかグリセスセか 特別なものがあるやうですが」 サ上 「わかもさもその先を張つて やつてぬるドリコノといふものが一時概然出たが自かの感では わかもごばかりで押し通してぬ ます」

行の三戦位の

大部「需要依料水さらては失張り」

秋山「カルビスが伸びるのは質能

大部「小杉さんはカルビス、森林 佐藤「一座総蔵修 頭に入れたも カカですか」

ーベビーはごう

盟店の座談

錄は比較的良

老巧の奉天軍に打卷く

奉撫對抗野球戰

後接無、奉近韓四

二十三日教育會 ユース

安東取引所

安

東

十六日から開く

甦生の意氣さかん

責任競技は驛が

・ 全州民政署管内の無業標識査が最 ・ 田瀬二郎、王明倫、王志元い三委 ・ 田瀬二郎、王明倫、王志元い三委 營業稅調查會

▲富士町八 軍人戀塚茂維氏長男

御めて

t

を以て立倉停止さなり其の後遊多安東取川所は三月十六日前楊殿り

四 平 街

大掃除の檢查

からいか日

輸組加盟店が

不況打開策の一つに

で するやう修正案 控論した、 歌 である である と で は と 関 氏 立 の 作 和 を で ある

齊に値下

か 居られるやうですが」
小杉「満洲にも大分遣入つてぬますが顕微があげられて仰々思ふ
やうに行きません」
やうに行きません」
が 秋山「衆庭で直接質ふ人がありますか」
かか、冬季ごその需要を軽にし要率七
かか、冬季ご子の割合でせう」

舞戦警覧内の大橋を検査は企べ本の につき各戸さも充分赤線にもて置 かれたいさ 十八日 附屬地中央 地以北十八日 附屬地中央 地以北二十日 阿以南全部、缆道西居留地全部 平頂堡得勝臺蜒續河二十日 新餐子、帽石山 砲兵隊祝賀會 城

すると規定されてある。これはするの分の記載であるとの場合をであるとの場合がであるとの場合がであるとの場合がであるとの場合がこの規定を有縁の夫にも適用がこの規定を有縁の夫にも適用 ○一有头の輪が截進するさが法は 0

の時間には、大いで説に、大いで説に、大いで説に、大いで説と

試験で研究生か事集 に助高等小県又は初等中根程度の 東北航空部では少年飛行家養成の

新高町の妙心寺では十八日から廿 一二日迄毎夜七時半から十時学まで 座離會が施行されるが有志多数の 来會を歓迎する由

よい即ではない。

處あり十七日全部や放された 拘留されてぬたが何れも反省する

鞍

Щ

輸入組合總會

作で東陸行の

を加速手針八名は十七日朝赴撫 天側の選手針八名は十七日朝赴撫

田本ペイント株式會「々長小別源 大部氏等鮮高視察順一行は十六日 東華同日各方面を歴訪し挨拶を述

(四)

女原頭

派順軍健闘の効空し

本年の凱歌奉天軍に揚る

はお園を何 雨天の節は六 特に翻引教を

旅順の飲食店數

比率は大阪以上

営業者當局に陳情

最新式兵器の

偉力を示す

金州城攻防演習

四百名參加

1(能四二〇〇)

り盛食裡に四時中頃散會とた ドに於て脈行され参加者十数名あ ドに於て脈行され参加者十数名あ

モアざエロの微音

七日の日曜は千餘名

要 並出表長は 有三十餘名か金媛と 日一外の宴を儲し 日一外の宴を儲し 日一外の宴を儲し

日 他 を州郷人會見の旅順見學は十七日 支から髪加滑を搬分減らしたがそ 支から髪加滑を搬分減らしたがそ でも四十名近き會覚あり影徳の 職長は十八日午前の急行にて家族 職長は十八日午前の急行にて家族 では着多数の見送り人に悩ま

を経風監察話に山野に散策を試みるのシーズン常瞬では現代館、サービスを始めた 日利寺駅狩り閣壁乗車の割引 (一)割引期間自五月十七日至同 1、二四日公一到引馬間自熊岳城 2、1、三等(五)割引车化復公|2、三時(五) 1、1、三等(五)割引车化復公|2、三時(五) 1、1、三等(五)割引车化復公|2、三等(五)割引车在名以上三割、二十名以上三割、二十名以上回、二十名以上回、二十名以上四割引车。

A → 一二年、五千圓▲ハー同、 一同、三千圓▲ター四年、八百 四▲ヒー五年、二千圓▲キー同 三千圓▲キー六年、二千圓▲コ 三千圓▲キー同二千圓 (頭字は屋戴、年は臍業年、金

一千八百圓を難してる。 徵兵適齡檢查

十六日旅師第一八學校識堂歌兵・ ・ 古の結果は ・ 中種合格者十一名本第一乙種十 ・ 大名本第二乙種十八名本内種十 ・ 二名本丁種四名

勞働統計調查

死刑に處す 畜牛の全部を

驛の團體割引

をいる事がと云ふので之れが を変しなる事がと云ふので之れが を変しなる事がと云ふので之れが を変しなる事がと云ふので之れが を変しなる事がと云ふので之れが を変しなる事がと云ふので之れが を変しなる事がと云ふので之れが

熊岳城

更正豫算諮問

3

日は嫉餓方蔵からの機學族行際は左
なた十六日來安の骸學族行際は左
なた十六日來安の骸學族行際は左

二人組强盜

酒も煙草も嫌ひ』 だが、お酒に溺れぬ位の人なら 徳永法代さんの兩親と語る

理想のお婚さん

(23)

我の命なれ今らいまさて君さ相みる

○対ゆゑに君が歌ゆゑなつかしきかな 声についくさ思へどはかなかりけり

解の解ししい意味がは

でものがある。

有の養生

田の潜勢力 無代贈呈

貴重4.6 文献

副総当時、権るべき総 は必要生になり終く のがある物である。 切らす、灯かす、網帯館に満した に於ける壁想響と書つて差支かる まい。以近來養行大激増の発製機 かかにして此解々たる需要に際で が殆ど間に合わせで、要要元では が殆ど間に合わせで、要要元では が治と間に合わせで、要要元では が治とでは がためない。 を表記を がためるといふ語でも 職の旗僧は必ずや一目瞭然たるも後つて患者が適用比較すればこの

製するに一般特殊教は職権、止島 教教や開をな位とするに戻し、小 教教をの難は動脈動を根本治療を以 での難なとしてるる。

針合名合整亚 元 東 町 東戸 報告本 11 東京

現代の理想薬

新

雙五十三 價正

インデイアンのビール・スタンド 日 丸號

1

ク

(六十二)

次

流石にア

時のからまぶし

まぜて火から下します。これによ

・ 中に十分間流ますと無の外皮は自っていますが中に対き、唯今の生姜節の

月五年

です。代金をさりはぐれる間か少いの 火に かけ木枝子で混ぜ保 が合せて再び かけ木枝子で混ぜ保

拵へるとしたなら

既製品の方が

ずつご經濟的です

す、共處へ行くさレデイ・メーすから裁縫時間が多くかいりま

アンテナ

是ケ浦に五月の光みなぎりてまぶしき層の上げがたきかな 農呂敷をひろげて坐せばうす色のまんさを君も草原にむく

種の播き方ご育て方

疾の再發 なもので、値かの溶験は冷心に乗るやう なもので、値かの溶験は冷心に乗返れた近くががあいままれたが

E'

で頭痛をなけず

地震などのは何といつても外科機能である。特に注射、規模などのは何といつても外科機能をある。特に注射、規約等よりなどといよ機能が対果あることは世界磁がが果めることは世界磁がが果めることは世界磁がが果めるといる。しかしているといよ機能が対果のとに対射、規約等より

建用都省内宮 元造製ーダイサ矢フヨ 水 野 平矢ツ三 社舎式株泉鑛酒麥本日

朝顔のお話

後の祭だ!

たま状によつて漢かに手術を受ける なり、優秀な整神によつて鑑的に 治療を計るべしである。 無残したいかがわしいものに迷っ てゐると、肝心の命を縛によって鑑的に かなべて、きであらう。

質

は

優秀

は

か

もずが、類似の数とは、いかなる細胞

かくして其病苦を除け若葉時増惡する痔疾

り地にありや? 痛苦

氣高く句ふ美髪料 結ひませう

日本女性の誇りです



度飲んだら忘られぬ天來の美味!老人にも、 下戸にも上戸にも、 喜ばれる「どりこの」の絶對的魅力し

には發育を盛んにする理想的な の滋養剤となり 日の疲労を恢復します。 、頑健となり疲勞を知らず、

專賣特

4 用

尚、次の様にしてお上りに なるのも頗る妙です のどりこのミルク(牛乳に適度に入れる) Oどりこのアイス(米水に適度に入れる) o葡萄酒、ウヰスキーに混ぜて の食パン、ホットケーキにつけて 分量、同数などに制限はありません

0コーヒー、紅茶、コ、ア等に入れて のみつ豆その他、お菓子に入れて ・・・この外、色々の用ひ方を御工夫下さい

發明

**工倍力至七倍の** 

全國の藥店、 百貨店

精力となる滋養料 飲めばスグ血となり

◆葡萄糖は人間活動力の源泉となる大切な成分で、 主成分は、葡萄糖、果糖、アミノ酸

■電話といふのは実面との経際で、電影から出来るといふ意味ではありません
葡萄糖は極めて貴重なもの文に甚だ高價な物であります。
注射して笑養を保たせる事が行はれて居ります。併し
故に現今の醫療法では瀕死の重病人に對し、葡萄糖を
故に現今の醫療法では瀕死の重病人に對し、葡萄糖を をなるのであります。果糖も葡萄糖と同様のものであります。 となるのであります。果糖も葡萄糖と同様のものであります。 それですから、葡萄糖そのものか食べたとすれば、それは全部が血となり肉では、特となって酸外に出て仕舞ふのであります。 それですから、葡萄糖そのものか食べたとすれば、それは全部が血となり肉をなるのであります。果糖も葡萄糖と同様のものであります。 どりこの一瓶中に含まれた葡萄糖・果

て居ります。 それ故アミノ酸は消化の神様と云はれ有つて居るばかりでなく、 それ自身が消化力を有つへアミノ酸、は胃腸の消化液の分泌を促進する作用を りこの』は続に美味しい遊覧料であります。というのでありますから『どで他の食物を催化して、その影響質を増進させる婉紛があります。後つそのよ、特に整蛋白質の構成には必要練くべからざる成分であります。後つ

糖の價は實に時價十圓に相當します

◆こんな譯で、「どりこの」は、それ自身が滋養料であると同時に、他の食物の消化劑でもあり、 强壯劑 ◇「どりこの」に配合されて居る他の數種の貴重薬 盛にする餓きを有つて居ります

次の様な方は、 てもお用ひ下さい 何を措い

とか、胃袋の要らない滋養料などと様へられて居る調でわります。会能遊養となり、終十五分位で血となり続力となる解から、高速更遊養経会能が養となり、どりこの』は、飲みば消化作用の必要なく、直ちに吸收されて

發賣元糠大日本雄辯會講談計 食料品店にあり まア

綺麗

キンドウをのぞく婦人)

現 贈 か

日本

大相撲

四百四十三名合計四四百四十三名合計四

財界不限の打略

五日目の勝負

川上二院がぬる、三雲川上二院がぬる、三雲

小だらる経像の選ぶで

人ふり必つてはく「ナ

東京風菓子護製

0 00

刀州審査の結果

ン高い髪をあげて非常な順ぎだ

澤酒渍了

米 画 変 ライムジュース ライムジュース ライムジュース ドカリップルサイダー

ワシントン インスタン

の支那人が強つてるて感んに

注がれてぬた、アカシャ

日本各地名産

日午前九時過ぎ小衛子與保袋

陣容を整

意氣品る満洲軍

### 海中の生物御採集 皇后陛下と御散策後

瀬天殿本房吉は徳水大さらて御用献めり御空歴空くにて徹水作戦をなる眼域の珍穏を探聴時じされ継跡附近より遠子が戯一瞥の響蔵に取り家中の宏媛御探覧が遊ぼされた。この日撃山在の御画列にて御用原御出門、長者ケ蟻附近を御院殿後、撃上陛下には十時近く御空歴三瀬鬼に召りの場合は、東上陛下には十時近く御空歴三瀬鬼に召り、「鎌倉十八日教」乗山御用邸に御碑養中の「天皇陛下には十八日午前九時四十三分皇后陛下と「鎌倉十八日教」乗山御用邸に御碑養中の「天皇陛下には十八日午前九時四十三分皇后陛下と 上げ解除下には正年近く遺神めらせられた。なほ十九日午前十一時二十三分温予御者、

#### 猛烈な 慶、最後に明を屠る 3

原明職等八回目投手のボーク問題 【東京十八日發】 白熱した十八日

は既級の如く七A数二で立教再、東京特電十八日数】帝立第二回

緊急理事會を開く

國際浦鹽支店員

怪露人に襲はる

日数するやうな原因は少いては非常な疑惑を抱 は果して身子の筆致かざ は果して身子の筆致かざ がある。

廿萬圓が携へて歸店の際

兇器で毆られて重傷

退書の鑑定願ひ

際死青年の父親から

ラに新しい課題

殺する譯が無いと

| 神歌に起く | 「東京都人を手先に使ひ物輪の常前十時ごろ粽」 らに支那人を手先に使ひ物輪の常

モヒ密輸を企つ 津の夫と共謀

賜金

大連の妻女が支那人を使ひ

さし関係者全部を召喚取職中でもの身極を一艘宏潔者堂に保護部に

の東洋各港通航の目的で鐵南浦よりの東洋各港通航の目的で鐵南浦より 伊軍艦入港 - 大に繋留した、同艦に

城攻撃流費参加のため所校以下旅順重網兵大肆では第二師開金

れも今夏東京流行界に於るが次に限ります。 雷店

好み等色々豐富に収揃へます。江戸好み、モダーン

ける代表的逸品で御座い

百名は二十一日出發二十六日師院の改造にて今回東行する領域は中

○御往女は通信助賣係へ

振替東京八八〇番

◇中形浴衣グラフ贈呈

明などを作取 十七日午 後入時ごろ小園の子館内新趣館四一 後入時ごろ小園の住着だが」ご根し駅航百個、 能に 「自分は新起館四九海子館所 がシ三〇、砂糖二尺、メイレー トー個を消文し代金は自宅で支那人が に は品額が持たせ、前記潘茂の裏 に は品額が持たせ、前記潘茂の裏 に といる子館方を訪れて祀めて をは 1000年 大つたまと出て来りのでかは不転 こと、 が成れて記が一般であり家に 大つたまと出て来りのでかは不転 でも ない。 といる子館方を訪れて祀めて を は 1000年 100 

御玉會當籤番號廣告

ラ

チオ界の最高權威

ナル會社製品

柳樹屯稻荷神社社務所

小様の大火 『小様十八日 市権原町東二丁目一太平山酸原デバートより出火三士三月を燃失し

惡

せ

ラヂオ専用

御申込み欠第説明書

定價 九十八 圖

言務學會

すプットス動自一ターモ無電 加五十九百 贯 定

「「「「「「「「「「」」」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「一」
 「「」」
 「「一」
 「「一」

 「「一」

 「「一」

 「「一」

 「「一」

 「「一」

 「「一」

 「「一」

 「「一」

 「「一」

 「「一

**發賣元 鐵** 

谷

電船モーターとラッパを美騰な箱に収めて立派な装飾品ラデオの本場米國の一流質粒の製品でラデオと著音機用

は精巧なる單一調整に依り各遠距離局共自由に分離

ラデオ店にて御試聴願ひます。

外山ラ

電話 ニュ六四 話んせニニ 大連市伊勢町占野町 大連市伊勢町占野町

一に依り少しの機械的雑音なく強大なる肉壁を観奮音機さしては完全なる自動ストップ付電

『ヘルピン特體十八日盤・國際巡 (第へおづく) さ出職とたど震撃のした。 は十六日午前総銀支店より現金二 14名と 十萬国を受取り国際支店が関に職 リー名の極ロシア人のため券のや うなもので頭部を吸打されたので が第二十六日年前総銀支店より現金二 14名と 大郎人があつた。係質が用他を整 が風口と申す者ですが、三年前 が関いました。 が第二おいて馬賊に襲撃され、その罰金 には現金入り機を店内に扱げ込ん には現金入り機を店内に扱げ込ん

利五百名を馘首

手當四十萬圓を支給

立製作所職工

救ひを求めつい情館し

本文店近くでの出 或日の午後四時過 専門 今井 醫

中島ラチオサービス中島ラチオサービス

安全短時日に應用の目的を建る分別の特殊作用を以て容易く る確實の効力を有せり

· 減桐節笥 カンノ

ボスタム 日下齒科醫院 

11日本のこの日日に入りては日

TICE TO THE COLUMN 大連市漫速町一八八大連市漫速町一八八八

原建築事務

店商平登尾平

ツキリ

酒うどぶ

うよお